

	目次	1. 事務局通信	統括幹事：後藤和晃
		2. ニュース	幹事
		3. 会の活動報告とお知らせ	幹事
		4. 岡崎紀行の感想文	旅行参加者
		5. 会員の広場	会員の皆さん
		6. ソウル便り	二日市 杜さん

◆ 事務局通信

事務局 統括幹事：後藤和晃

(1) 交流の夏へ、期待高まる！ ～ 光州学生訪問団・8月5日来日 ～

いよいよ“交流の夏”がまたやってきます。今年は全羅南道の州都・光州から学生交流団が訪れる予定です。この夏の交流では例年をこえる大きな実りがありそうな予感がします。そう思う理由を説明しておきましょう。

今年の2月に名古屋から学生交流団を光州に送ったことはご記憶に新しい所でしょう。11名の意欲的な大学生たちが、光州の学生たちの自宅にホームステイしながら、一緒にバス旅行したり遊んだりしました。その時のホストをつとめた光州の大学生11人のうちなんと9人までが今回の訪問団に加わっているのです。

参加できなかった学生たちは、兵役や留学などやむをえない理由があったとの事で、ほとんどの学生が名古屋に来るわけです。こうなった背景には、光州YMCAの姜幸玉副理事長や引率の朴相熙さんらの熱意溢れる説得に加え、学生たち自身の日本への関心の高まりがあったのではないのでしょうか！？

いずれにしても、訪問団16人のうち学生の9人、団長ら2人計11人が顔見知りの人たちですから、すでに知りあっている同志の絆がより一層深くなるのではないかと考えられます。そんな姿を予見させるケースがすでに起きています。2月に光州を訪問した女子学生の1人Sさんは、その後母親とソウルに旅行した際、光州で交流した学生の一人をソウルに呼び2日間、楽しく交流してきたといいます。

「8月にはその光州の子を名古屋で歓迎しよう！と母子で張り切っています！」とのことでしたが、彼女のようなケースが間違いなく増えるでしょう。今年は私たちの会が発足して、ちょうど7年目です。ラッキーセブンの夏にふさわしい若者たちの実り豊かな交流を期待しましょう！

(2) “交流の夏”をご支援下さい！！ ～ 奈良一泊旅行を募金で… ～

例年、韓国から学生訪問団に対し、私たちは募金を行って奈良への一泊旅行をプレゼントしていま

す。会員歴の浅い方のため若干その背景を説明させていただきます。

奈良一泊旅行を行っているかには大きな理由が2つあります。その1つは、私たちの団体では3泊4日（金、土、日の）3泊で月曜日に出発）のホームステイが限界であるため、せっかく高い旅費を払って訪れた訪問団の滞在日数を少しでも増やしてあげたいという事でした。もう一つの理由は、奈良に行けば韓半島では全く見ることができない古代朝鮮（高句麗、百濟、新羅）時代そのままの寺や塔、仏像に出会うことができるという事です。奈良には世界遺産である法隆寺や東大寺などが伽藍を並べ、千三百年も前の時代を彷彿とさせてくれています。訪問団の学生は奈良で仏教文化の華が咲いた三国時代には、日韓の間に思いもかけないほど濃密な交流があったことに想いを馳せると共に、日本人が文化財を守り抜いている事実には驚きの目を向けます。

このように奈良への旅行のプレゼントは、これまでもこれからも若者たちが、日韓の交流の歴史や日本文化の特筆を知る上で、有益な試みであると確信を持って言えます。この意義多い奈良旅行の実現のために、会員の皆さんが少しずつ、ご寄付いただければと思います。寄付の要領についてはお知らせ欄をご覧ください。

光州訪問団招待の全容

（1）光州訪問団への募金・・・目標は25万円です！

事務局通信で記した通り、皆さんのご協力（募金）で訪問団に奈良1泊旅行をプレゼントしたいと思えます。目標にしている25万円は決して少ない金額ではありません。しかし、訪問団16人を含め日本側の学生や解説者、ドライバー等を含めると総勢25人となり、節約に節約をかさねても、およそ27万円前後はかかりそうです。

むろん、この旅行や8日（日）の交流の夕べなどで資金が不足する場合には、会の会計が預かっているお金から、補うつもりです。いずれにしても、例年通り目標額をクリアし訪問団に意義ある旅行を送りたいと考えます。ご協力いただける皆さんは、同封した郵便局の振込用紙を使い（8月8日（日）17:00の交流の夕べの参加費とあわせ）、会の口座に振り込んで下さいますようお願いいたします。万一、振込用紙を無くした場合には下記の要領をお願いします。

口座名 「日韓市民ネットワーク・なごや」

振込口座番号 0830-4-36485

通信欄 寄付金、交流の夕べ参加費など
金額とともに明記願います。

（2）光州訪問団のスケジュール

月日	行程	月日	行程
8/3 (火)	光州からバスで釜山港へ 16:00 大阪行きフェリー発	8/7 (土)	ホストと共に 全日自由行動 (ホームステイ)
8/4 (水)	10:00 フェリー大阪港到着 大阪見学（大阪城ほか） （大阪・ホテル宿泊）	8/8 (日)	ホストと共に夕方まで自由行動 16:40 名古屋韓国学校に集合 17:00 「交流の夕べ」参加 19:30 終了・学生同志の第2次交流会へ (ホームステイ)
8/5	10:00 近鉄奈良行きに乗車 11:00 近鉄奈良到着 日韓市民ネットマイクロバス乗車		

(木)	(弁当積み込み車内食事) 12:00 崇神天皇陵・黒塚古墳 橿原考古学研究所博物館 15:30 法隆寺 18:00 奈良ユース (ユース泊まり)	8/9 (月)	新幹線改札口前集合 名古屋駅発～大阪へ 16:00 大阪港より釜山行きフェリー出発
		8/10 (火)	10:00 フェリー釜山港着 バスで光州へ 金浦(19:05)→光州(20:00) 18:00 光州到着解散
8/6 (金)	8:15 ユース発 8:30 平城宮跡、資料館 10:30 興福寺・五重塔、金堂 12:00 古市旅館で弁当昼食 13:20 東大寺・南大門・大仏殿 15:00 東大寺発 18:00 名古屋韓国学校着 ホストと対面 (ホームステイ)		

別記

(3) 訪問団員一覧

氏名	性	学校など	学年	氏名	性	学校など	学年
カンヘンオウ 姜幸玉	男	団長		パクジソン 朴秀珍	女	朝鮮大・行政社会福祉	3
ハクサンヒ 朴相熙	男	引率者		ハクジヨンオル 朴正烈	男	トンソン高	2
ハクミョンイル 朴明日	男	引率者		ハクチヒョン 朴智珉	女	朝鮮大・日本語	2
カンヒョンジヨン 姜暁貞	女	光州女子大・初等特殊教育	2	ヤンイルファン 梁奭煥	男	朝鮮大・貿易学	1
キムジヨンファン 金正勲	男	朝鮮大・化学工学	1	ユンナリ 尹ナリ	女	朝鮮大・日本語	3
ナヒョンギョ 羅炫	男	朝鮮大・行政福祉	2	イジホ 李志憲	男	光州大・経済	3
ムンソクミ 文善美	女	朝鮮大・経済	2	チョンチン 鄭智銀	女	朝鮮大・経済	3
ハクソンヨン 朴善英	女	朝鮮看護大・看護	2	ファンイン 黄仁英	女	光州女子大・社会福祉	3

(4) 訪問団来日に伴う会員へのお願い

① 奈良紀行への同行、解説

奈良1泊旅行には、2月に光州を訪問した学生ら若者5人、事務局関係2名、ボランティアドライバー2名の計9人の皆さんに同行をお願いしました。2日間の旅行中、訪問団のメンバーがくつろいで行動できるよう、アシストしてもらいます。また奈良在住の李憲晟さんには、平城宮跡のガイドをお願いします。

② ホームステイの受け入れ

今回も 16 人の訪問団の全員を会員等の自宅でホームステイできるようにしたいと考えます。すでに 2 月に光州を訪問した学生の大半が家庭への受け入れを表明していますが、まだ数名の学生や引率者のホストを募集中です。

③ ホストの打ち合わせ会を行います

6 月中に決定するホストの皆さんに下記の日程で打ち合わせ会に参加していただきたいと思います。訪問団のメンバーに関する情報の確認やホスト同志の相互連絡体制など話し合います。

打ち合わせ会	
日時	7月17日(土) 9:30~11:30
場所	名古屋市東生涯学習センター 第一集会室
	※ TEL 052-932-4881
	※ 地下鉄東山線の1番出口を出て大通りを北へ150m、 名古屋市芸術創造センターの東隣り

打ち合わせ会にはホストの学生もしくは家族どなたか必ずご出席下さい。

④ 日韓“学生・市民”交流の夕べにご出席を！！

8月8日(日)の夕方から訪問団を囲んで賑やかに交流の夕べを開催します。この夕べには、光州からの13人の学生の他、2年前にも来日され会員たちと親しく交流された団長の姜幸玉さん(日本語が上手な人です)や朴相熙さんも出席されます。

全くの偶然ですが、大邱の徐彰教(韓日親善交流会長)さんが岐阜市との交流でどう時期に来日されており、交流の夕べに顔を出したい意向です。多彩な交流が展開することは間違いありません。元回転寿司経営の中川幹事が握るスシの味をも十分に楽しんでいただけます。ぜひ出席し、韓国の人々と友達になってください。

日時	8月8日(日) 17:00から
場所	名古屋韓国学校 2F教室
	※ TEL 052-452-0321
	※ 地下鉄東山線亀島駅下車、2番出口から北へ50m、喫茶店を左折30m
参加費	一般会員 3,000円
	学生 2,000円
	留学生 1,500円
	訪問団 無料
出欠アンケート	
同封のハガキで出欠をお知らせ下さい。ご出席の方は当日の受付の混雑を防ぐため、恐縮ですが事前に同封の振込用紙で郵便局から振り込んでください。	

(4) 明日香紀行参加の皆さんへ

7月2日(金)~3日(土)の「明日香に見る百済の幻影」紀行については、すでに参加要項をお送りしてある通りです。京都・西宮・奈良からの参加者を含め、およそ20人で明日香の地で古代百済との係わりを探求します。

梅雨の季節ですので、防水コートなどの雨具を携行される他、ズボン、ハイキングシューズ(運動靴)など歩くことを前提にした服装をご用意下さい。

初日 出発 → 伊賀上野 → 近鉄桜井駅 → 国立飛鳥資料館
(7:30) (小憩) (9:50 金岡氏ら搭乘) (10:20 先生)
→ 飛鳥寺 → 資料館前レストラン → 万葉記念館
(11:30) (12:30~13:15) (13:30)
…… 酒船石 → 石舞台 → 飛鳥歴史公園 …… 高松塚古墳
(15:00) (15:40) (16:00)
→ キトラ古墳 …… (於美阿志神社) → 牽牛子古墳 → 益田岩船
(16:50) (17:20) (17:50)
→ 祝戸荘 万葉パーティ
(18:30) (19:00)
(注) → は車で移動 …… は歩き

二日目 出発 → 亀石 → 新沢千塚資料館および千塚古墳 →
(8:15) (8:30) (9:20 ~ 10:40)
橿原考古学博物館 → レストラン → 崇神天皇陵 →
(11:00) (12:40) (14:20)
黒塚古墳および資料館 → 伊賀上野 → 名古屋駅西 (解散)
(15:10 ~ 15:40) (17:00) (18:30)

ニュース

このページは、新聞や雑誌あるいはホームページなど、当会に関係があるニュースを掲載しています。皆さんが、お気づきになったニュースがあればお知らせください。

○ 中部韓国人留学生会の運動会

5月15日(土)名城大学グラウンドにて毎年恒例の中部韓国人留学生会の運動会が開催されました。韓国人留学生ばかりでなく、名城大学の学生も多数参加していました。これは昨今の韓国ブームの影響もあつてのことでしょうか。

韓国領事館の柳領事の挨拶ではじまり、イ・スンフン留学生会会長の挨拶、スケジュールの説明の後、すぐにお昼ご飯となりました。昼食後、4チームに分かれてのキックベース。男女混合チームと言う事もあつて大変盛り上がりました。その後は、恒例の男性ばかりでサッカーを行い、最後にビンゴ大会で締めくくりました。

来年からも多くの韓国人留学生、日本人、在日韓国・朝鮮人が参加して交流を深めるきっかけになれば良いと思います。

◇ 会の活動報告とお知らせ

1. 報告

1) 朝鮮族留学生は今？

6月19日(土)に鶴舞の名古屋国際日本語学校で朝鮮族の留学生から話を聞く集いがありました。今回お話をしてくださったのは中国東北部出身の朝鮮族の留学生3人でした。集まったメンバーは途

中で若干の出入りがありましたが、大体 17 名です。聞き手は日本人、在日韓国人、韓国人留学生と多彩なメンバーでした。

朝鮮族 3 人はいずれも日本語がなかなか上手で話の内容も故郷の朝鮮族自治区の同族の暮らしや朝鮮文化の継承への努力、漢族との関係、日本や韓国への留学の状況から将来の夢まで多岐にわたりました。スタート時にはちょっと緊張していたようですが、次第に楽しい雰囲気の中での交流会になりました。時間がすぐに経ってしまい、一応の目安の 5 時を回った所で一旦終了してコンビニで飲食物を仕入れて、今度は個別にいろいろな話をして交流を深めました。

いろいろ話を聞いた中で、同じく戦争時の混乱のうちに日本に渡った在日韓国人と中国に渡った朝鮮族では、民族意識、民族教育に違いがあり、朝鮮族の 3 人が自分は中国人で、母国語は中国語と韓国語（朝鮮語）だと自信を持って答えていたのが強く印象に残りました。

今回は初めての試みでしたが良い雰囲気で終わったので、今後もこのような機会を作っていきたいと思います。

2) 本会ホームページに新たにハングル専用交流館ができました。

本会ホームページを時々訪れていらっしゃる方はお気づきになったと思いますが、新たにハングル専用の交流館ができました。既にたくさんの投稿がきています。昨年名古屋に留学していたキム・ヨンヒさんや中部留学生会会長のイ・スンフンさんの投稿もあります。

<http://board.cgiworld.net/list.cgi?id=nikkan> (ハングル専用交流館のアドレス)

2. お知らせ

新会員紹介（敬称略）

前回の会報発行以降に入会された方で、今会報の編集完了時点(6/19)分まで受付完了されている方々です。

徐彰教	神山 晃	鄭恭鎬
-----	------	-----



「家康の故郷・岡崎紀行」

参加者の感想文

○ 岡崎旅行 ————— 名古屋大学電気電子工学部 3 学年 イム・スンギョン

「岡崎?」 友達が最初岡崎と一緒にいこうと誘った時、私はちょっとためらった。前日の晩、ろくに睡眠が取れず疲れていたこともあったが、本来見知らぬ何かに対する不安があった私に、岡崎という地名がとても疎く聞こえたからだ。しかし、不安よりも好奇心が強くて結局旅行に参加することにした。

土曜の朝 7 時、比較的早朝に集合場所に集まった。やはり、予想通り疲労がまだ抜けきらない状態だ。車に乗って 50 分くらい過ぎた頃、遠く、足元から岡崎城が少しずつ見え始めた。

先に到着された日本の方達と合流して、最初に行ったのは時計台だ。10 時きっかりになると徳川家康を模して作られた人形が出てきて、踊りを踊ることで有名な時計台だ。10 時になり、日本の伝統音楽が聞こえてくると人形が扇子を持って踊り始めた。見事に作られた人形は時折おどけた仕草で人々を笑わせ、10 分あまり踊った。

次に行った所は博物館だった。幕府時代の武士の鎧、刀、食器、地図や平民の生活の様子を描いた絵など、その時代の匂いまで感じられるような所だった。最上部は展望台があり、周囲の風景が一望できた。高いところから見下ろしていつも感じることは、調和した美しさを見られることだ。昔の建物と新しい建物の調和、適切な空間配置、清潔な歩道、程よい大きさに個性のある看板、等。

昼食を食べて岡崎特産品の「八丁味噌」を作っている工場へ行った。「八丁」は岡崎城から工場まで

の距離を意味しているようだ。八丁味噌で作った赤だしと飴、アイスクリーム等を試食できた。味噌自体は濃くて深い味だったが、飴やアイスクリームは私が外国人だからか、多少口に合わなかった。

最後に行った所は岡崎城主人の系譜が集められている所だった。墓地を過ぎ、目的地に到着した。静かで厳かな雰囲気だった。中に入るとすぐ歴代の主人たちの写真がかかっていた。全体的に暗鬱で暗い表情だった。さながら城を守らなければならない重圧感に苦しんでくたびれ果てたようだ。

全ての日程を終えて家に戻ってきた。やはり長時間立ち、旅行をしたことで疲れたが、空気がよく、景色もよい所で、新しい経験をすることができて、とても充実した価値ある一日だったと思う。

○ 岡崎 ————— 名古屋大学 ペ・シギユン

去る5月2日、日本人数名と名古屋大学の先輩、そして大学の同期生と共に岡崎旅行に行ってきた。

8時に本山へ到着して、感じの良い日本の方達の車に乗って行く事になった。車が多く、退屈することもあったが、どなたかが準備していらしたおいしいサンドイッチを食べながら楽しく行くことができた。

一番最初に到着したのは岡崎城。徳川家康に関する城だ。城の入り口にある時計では、扉が開くと中から人形が出てきて歌のようなものを歌っていたが、全く聞き取れなかった。しかし、日本人の方達も、昔の日本語だからわかりづらく、そんなに気にすることは無い、と仰った。

城の中に入って行くと、徳川家で生まれた子供が体を洗ったという井戸を見た。城の最上部、展望台に上がって行って、岡崎市の全景も見た。ちょっとした都市だが、穏やかで和やかな感じがした。

展望台で景色を楽しみ、昼食に味噌定食を食べに行った。味噌を使ったいろいろな料理を食べることができ、味もかなりおいしかった。次に、味噌工場の見学に行った。私はまだ日本語に不慣れで、説明をしっかりと聞き取れなかったが、それでもこんな工場に実際に来て、味噌の製造過程を見ることができてとてもよかった。そして、味噌キャラメルや味噌アイスクリームを食べたが、味は思っていたよりも平気だった。

次に徳川家康の墓がある所へ行き、お寺のようなところに入った。歴代の当主の墓碑もあり、その墓碑の長さは当人の身長に合わせて作られたと聞いて驚いた。

その後、とある店に入りお茶とケーキで休憩し、名残惜しかったが散会した。日本に来て初めて日本の人たちと一緒に旅行してみて、面白いことも沢山見て、おいしいものもいっぱい食べてとてもよかった。これからもこんな機会があったら参加したいと思う。

○ 岡崎紀行 ————— 会員 磯野 良平

朝8時前、男性ばかり韓国人留学生7人が待っていたのを遠目に、女性が居ないことをつい残念に思ってしまうヨコシマな感性を紛らわす事から、この1日が始まりました。満面の笑顔を浮かべて歓迎してくれるスンフンに、他の留学生を紹介してもらい、急いで車に乗り込み、渋滞の東名高速道路をゆっくりと一路岡崎へ。岡崎城公園、八丁味噌工場、大樹寺、と目まぐるしく岡崎を散策したわけですが、交流紀行よりは修学紀行のようにも感じるほど、いろいろと勉強させてもらった気がします。

ところでこの日知り合った留学生は、思わずおくゆかしさを感じてしまうほど律儀で控えめだったので、僕が抱いていた韓国人のイメージと若干のズレがあったようです。ともかくも留学生といういろいろやりとりしながら、豪州で僕が感じた韓国人のパワーはやはり女性が発していたものに違いない、と変な確信を密かにしつつ、岡崎を歩きました。とはいえ、最後に喫茶店で腰を落ち着けた途端に、ざわざわと話が盛り上がったことは、気を緩める場所は日本人も韓国人も似てるんだなあ、とつくづく感じてしまった瞬間です。

これで焼酎があれば文句なし！なんて思ってるのは僕とスンフンくらいかな・・・
(笑)

というわけで、せっかくだから次までにもう少し韓国語を勉強しておくでしょう。

○桜樹のかささぎ（訪韓）

会員：瀬尾 文子

山中の美術館庭 咲き並ぶさくら一樹に大いなる巢見ゆ
さくら花はらはら散らし木の股の巢に今し入るかささぎの影
白黒のスマートな身の軽やけし新幹線の数もかくや
七夕の男女をつなぐかささぎら日韓学者らにキーチ吉と鳴く
枝揺らしキーチキーチと吉報を芳花の末の雛までも告ぐ
咲き匂うさくら大樹のかささぎら花散らすショー惜しげなく見す
かささぎの民画を壁に韓国の時調研究の雰囲気だせり
百濟より白きかささぎ贈られし高麗初の詩われを魅了す
かささぎら桜花の枝でにぎわえり我らは詩中の白鵲を語る
まぼろしの白きかささぎ現れて花光の枝より帰るなど啼く

お知らせ

「春怨秋思 コリア漢詩鑑賞」角川書店 瀬尾文子著は、皆さまのおかげを持ちまして、重版中
でございます。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

○日本語教師の武者修業（？）天安にて

会員：山田雅樹

名古屋国際日本語学校・太田雅隆教授の引率のもと、2ヶ月半の間天安の白石大学で日本語を教える
ボランティア活動の機会に恵まれた。

韓国語を学びながら日本語を教えるわけだが、過去に外国人に日本語を教えたことなど全く無く、す
べてが初体験なので不安と緊張の連続だった。それでも至大に打ち解けるようになり、私に色々聞き
に来てくれるようになったのは非常に嬉しいことだった。日本語が上手な学生も、そうでない学生も
ついて来てくれる。拙い教師ではあったが、私もみんなにちゃんと理解してもらえるよう分かりやす
く教えたつもりだ。同会会員の永谷繁氏が韓国の雑誌「아름다운 사람들」に寄せたエッセイの中で‘私の
好きな韓国のことわざで「공든 탑이 무너지랴」という言葉がある’と述べているが、意味を理解したとた
ん胸の奥まで染み込んでいく思いがした。

釜山では元会員の張池影さんとの再開を果たすことができた。当日釜山の天気は良くなかったものの、
彼女とともに釜山の街を歩くことができ良き思い出となった。他にも日本では味わえない補身湯
(犬肉を使った鍋料理のこと)、学生と楽しく飲んだことなどなど、山田雅樹という人間に韓国という
양념を漬け込むのにはあまりにも時間が短すぎたが、たくさんの思い出を作ることができた。天安で

日本語を教える機会を与えてくださった太田先生に心から感謝したい。

最後に私事で恐縮だが、私の伯父・達樹が、私が天安に着いてから2日目の4月9日、あまりにも早くこの世を去った。韓国語を上達させて名古屋に帰ると誓っていただけに、この悲しみを表現する言葉が見付からない。天国から見守ってくださっている故・達樹に我が拙文を捧げたい。

○ “つばめ” と韓国 会員：小田 章恵

400年前の「朝鮮通信使」の歴史的事実を題材にした、ジェームス三木脚本のミュージカル“つばめ”は、267回公演の最後を、私の住んでいる岡崎ですませ、5月8・9日ソウル、5月11日光州、5月14日釜山と韓国へ飛びました。

私は、豊学校に勤務していたこともあり、ITの進んでいる韓国ではどのようにしてハングルで伝えるのか興味があり、“つばめ”とともに韓国へ渡りました。

今回の“つばめ”韓国公演は韓国国立劇場 金明坤（キム・ミョンゴン）劇場長より招待をいただいたものだそうです。

私は、それより二週間前の4月25日豊橋で、西便制（ソビョンジェ：風の丘を越えて）という一番好きな韓国映画パンソリ旅芸人の父子の娘役、オ・ジョンへのパンソリ演奏会を見る機会に恵まれ、その感動がさめやらぬま、韓国に飛んだのですが、何と！韓国国立劇場長「金明坤」氏は、その旅芸人父子の父親役の方だったのです。二つも三つも感動している私に韓国“つばめ”公演は、これでもか、これでもかの感動を与えてくれました。

5年前まで「朝鮮通信使」という言葉さえ知らなかった私は、韓国に行く中学生や高校生にいつも聞いてみます。「朝鮮通信使って知ってる？」「徳川家康って知ってる？」。どの子も答は同じ「知っています。」です。もちろん今回もどの劇場でも聞きまくりました。「知っています。」ということばが聞きたくて・・・

アリランと日本民謡の見事なアレンジで、両国の歌とおどりが最高に達した時、客席とステージが一体となった、あの会場いっぱいの手拍子とかけ声の興奮は今も忘れられません。つばめが拉致された「全羅道靈光」の海に近い光州公演では、緞帳があがるや、大きな声援の嵐、日本では少しはかしくて大声の出せない私も、負けじとカー杯叫び、全身で応援しました。

興奮さめやらぬ私たちの前で、ジェームス三木さんはおっしゃいました。

「つばめには、国境がありません。国籍もありません。海を越えて自由に行ったり来たりできます。人間社会も早くそういうことが出来ることを願って、この作品を書きました。みんなが一生懸命見てくれて、今日は兄弟・姉妹になった気がします。」

ジェームス三木さんに私は岡崎から持っていった「家康」というお洒を差し上げました。みんなの前で披露して下さり、国交修復に力を注いだ徳川家康の生まれた岡崎に住む私は、また今回も大きな感動をいくつもいただいて帰りました。

“つばめ”は、今年10月、韓国国立劇場「国立唱劇団」によりハングルで上演されるそうです。韓国公演が終わる2005年5月には、韓国版“つばめ”の日本公演も予定されていると聞きました。その日が楽しみです

○日韓市民ネットワーク・なごや事務局様 会員：李愚栄

新参者であるにもかかわらず、会報25号を早速送っていただきありがとうございました。会報を1枚1枚めくってゆき、90年も前に韓日友好の種をまいた水崎林太郎翁の記事にめぐり合いました。そして、こうした人がいたのかと深い深い感銘を受けました。来年（4月）の追慕際には私も、ぜひ出席したいものと熱望しています。

注) 新会員の李愚栄さん（韓国・平澤市在住・78才）本会ホームページの交流館への投稿より

○ 顔が見えない盧武鉉政権の「国政第2期」

争点となった首都移転、ソウルのバスが大変身

盧武鉉政権と与党ウリ党が、このところどうもさえない。革新的な政権になってから初めて、4月15日の総選挙で与党による単独過半数議席を勝ち取り、5月14日には憲法裁判所で盧武鉉大統領の弾劾棄却判決を得て、もうこわいものなしのはずだったウリ党は、6月5日の地方自治体の長と議員の再選挙、補欠選挙で惨敗してしまった。

4つの広域自治体の首長では、釜山市長、慶尚南道知事だけでなく、地盤だったはずの済州道でも知事の座を、いずれも野党ハンナラ党に奪われ、金城湯池の全羅南道知事も今や小数野党になった去年までの母体、民主党に奪われた。そのほか110の首長、議員も大半をハンナラ党に奪われた。

盧武鉉政権がいう「国政第2期」もなかなかスタートしない。弾劾訴追の間、大統領代行を務めた高建首相は、5月25日に辞任する前に新閣僚の推薦を拒否して抵抗を示した。これでウリ党の鄭東泳前議長らを早めに入閣させる試みは失敗した。次の首相に予定していた慶尚南道知事を3期務めた金ヒョクキュ氏は、野党の強い反対でお流れ。それではと、ウリ党幹部の李海瓚(イ・ヘチャン)議員(52)の首相指名同意案を国会に提出しており、これは多数決で6月末には決まりそう。首相の空席とともに国会は委員長ポストの配分をめぐる異例の空転を続け、実質審議になかなか入れずに政治の空白状態を長引かせた。

盧武鉉政権やウリ党に人気が出てこないのは、その顔が国民に見えてこないからだ。改革を叫んではいるのだが、時代が求める明確なヴィジョンを示していない。外貨危機以来だともいわれる今の消費不況、若者の就職難への対策がいっこうに示されない。国民は不安だ。これに対して野党ハンナラ党は、女性の朴槿恵代表が世論調査で現職政治家の人気第1位になり、主張も分かりやすいと受け止められているようだ。

こうした中で首都の移転が新たな争点として浮かび上がってきた。政府の新行政首都建設推進委員会は、6月8日、国の主な機関85を2014年末までに移転させることを発表、15日には新首都の移転候補地として 忠清北道・南道の4カ所を発表、さらに7月1日にはそれぞれの評価点を公表する予定で動きは急だ。

「行政首都の忠清道への移転」は、2002年の大統領選挙の際、盧武鉉大統領が「国土の均衡ある発展」が必要だとして忠清道の票を意識して作った公約で、ハンナラ党も同じような公約を掲げていた。そして総選挙をひかえた去年12月の国会でハンナラ党も賛成して新行政首都建設特別法が制定された。こうして作業が進められているのだが、問題は行政首都というのに85の移転機関の中に、国会と大法院(最高裁判所)、憲法法院(憲法裁)まで入っている。行政だけでなく、立法、司法も勝手に入れられているのだ。「これでは遷都だ」と言うマスコミに対して、盧武鉉大統領は「遷都は中世のことばだ」とはぐらかした(11日、各社経済部長との懇談会)。

朝鮮日報は社説で「国会や裁判所は何も言わないのか」「大統領府、国会、大法院の建物・敷地を誰に売り渡すというのか」「手遅れになる前に再考せよ」と反対を表明し、移転費用は大統領が選挙中に言っていた4兆ウォンではなく、120兆ウォンもの巨額に達し国民の負担は耐えがたいとしている。

もちろんソウル市は、大規模な反対運動を繰り広げようとしている。また仁川市、京畿道、江原道も抵抗姿勢を示している。「国民投票をすべきだ」、「国会が法律まで作ったのだからその必要はない」と、国民の意見は分かれる。結局は霧散すると、うがった見方をする人もいるが、盧武鉉大統領はかなり入れ込んでいる。実現すれば、日本など各国大使館も移転を迫られ、マスコミも今のままの体制ではすまなくなるので、事は簡単なものではない。

さて話は変わって、ソウルの街を走るバスが7月1日からがらりと変わるので注意。ソウルはバスの数が多く、信号に合わせてバスの大部隊がどっと停留所に押し寄せてくるので、自分のバスを見つけて乗り込むのが一苦勞、観光客にはとても無理だ。地点同士を結ぶバスが早くから発達していて、

その後地下鉄が開通したことも混雑の一因だ。57の民間バス会社が、ソウル市が認可した364の路線に約8000台のバスを走らせている。こうしたことから今回の大改革となった。

バスは4種類に分類され色分けされる。幹線（B＝青）、支線（G＝緑）、循環（Y＝黄）、郊外連絡の広域（R＝赤とオレンジの間）となり、路線番号もこれまでとまったく異なるほとんど4桁に変わる。このうち幹線バスは道路幅の広い所では、名古屋の方式を取り入れる。路面電車のように道路中央に乗り場をもうけ、バスは道の真ん中をすいすいと走る。

運賃体系は発表後2回も手直しがあって、実に画期的なものになった。これまでは均一だったのが距離が遠くなると高くなるのは、どこにでもあるが、バスと地下鉄が通し運賃となるのは、世界的にも珍しいと思う。バスと地下鉄・国鉄電車を30分以内に乗り換えるならば、7月1日からは10キロ以内の区間なら5回まで乗り換えても800ウォン（現在はバス700ウォンに地下鉄700ウォン以上の合計額）で済む。これらの前提になるのがプリペイドカードの「交通カード」。これが一枚あれば通し運賃が適用される。観光客も空港などで買える。

7月の実施にはかなりの混乱が予想されるが、うまくいけば混雑の解消になりそう。この思い切った改革を推進しているのは、ソウル市の李明博市長。現代建設社長から国会議員になり、02年、ハンナラ党からソウル市長に当選した。都心の高速道路を撤去して、その昔その下にあった清溪川を復元する工事を今進めている。市庁前のロータリーを、イベントもできる緑の芝生広場に変えた。そして韓国初のドーム野球場の計画も進めている。

韓国の公務員は7月から隔週週休2日制、来夏からは完全週休2日制となる。南部の大都市、光州市に4月28日、韓国で5番目の地下鉄が開通した。夏休みに試乗はいかが。

◇お知らせ・紹介

この欄は、会員の皆さんへ各種ニュースや1～3ヵ月先のイベントのお知らせや、

その他もろもろの紹介をしていきます。 会員の皆さんからの情報も待っています。

1) Ichi-Ni-SANTA Live in 名古屋 TOKUZU (http://www.geocities.jp/kyon_koh/index.html)

韓国の伝統音楽・舞踊を極めながらも現代風アレンジされたパフォーマンスをご期待下さい。

日時： 7月21日（水）7：00 開演
会場： TOKUZU
料金： 前売り¥3,500 当日¥4,000
発売日： チケット6/1 発売
問い合わせ： TOKUZU 052-733-3709

2) シネマコリア 2004 (<http://www.cinemaskhole.co.jp/>)

会場： 愛知芸術文化センター 12階 アートスペース A

チケット： 各作品1,400円（前売り／当日）

問い合わせ アジアスーパーシネセンター TEL 052-453-3110

7月31日（土）

12:40 開場
13:00 「品行ゼロ」
15:30 「ゆず茶で 코리아 vol.4」
17:40 開場
18:00 「オー！ ブラザース」
8月1日（日）
10:40 開場
11:00 「先生、キム・ボンドウ」
13:40 開場
14:00 「春の日のクマは好きですか？」

3) 日韓友情年 2005 (<http://www.jkcf.or.jp/friendship2005/>)

来年の日韓友情年に向けてのホームページが開設されました。

◇会報 25 号記事の訂正とお詫び

20 ページのお知らせ・紹介の 2) 今里哲リサイタル 2004 の案内の所で日付が間違っておりました。関係者の方々に大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

編集後記
(2004/6/20)

会報 No. 26 をお届けします。

皆様お元気でしょうか？今年になって私は風邪ばかり引いています。そんなことを言い訳にしつつ会報の編集作業に追われています。今回もなんとか仕上がったという感じです。

また、会のホームページの方にも、毎月の事務局会議の様子やその他の重要な情報や案内がリアルタイムでアップされています。是非訪れてください。そして交流館の方へも書込みをお願いします。アドレスはこの会報の表紙に載っています。

池貴己子さんのイラストは、NHK ラジオ講座 1994 年度から、韓国の古典を題材としたものです。

編集：早川 潤 〒472-0002 知立市来迎寺町木ノ根田 10-4
TEL/FAX 0566-82-5466 MAIL junhykw@pop12.odn.ne.jp